

第2回策定会議で出された意見への対応

	項目	策定会議での意見	意見に対する対応
1	1-(1)-①	企業への啓発方法と、これまでの企業に対する啓発の取組はどうなっているのか。	これまで企業への啓発が不十分であったため、第3期計画で取り組んでいきます。啓発冊子の配布、DV防止講座の実施などの啓発活動に取り組めます。
2	1-(2)-③	新採用教職員への研修だけでなく、一般の教職員にも研修を実施してほしい。	教職員の研修については、教育委員会が計画しているため、教育委員会と調整していくこととします。
3	1-(2)-③	資料1、P13【施策③】教職員等に対する啓発の推進で、研修に関する他部署との連携、協力という文言は必要ないのか。	連携、協力というような市主導ではなく、市が作成する啓発冊子等を活用し、職場研修等を自主的に実施されることを想定しています。
4	1-(3)-①	医療機関には、歯科も含まれるのか。	医療機関には、歯科も含むものとして取り扱います。
5	2-(1)-②	資料1、P14【施策②】関係機関によるネットワークの充実(拡充)で、JKビジネスやAV出演強要被害、人身取引被害、ストーカー被害という本文になっているが、「性犯罪被害」という文言も入れるべきではないか。	本文に「性犯罪被害」という文言を追記しました。
6	3-(2)-①	SNSの活用は良いことだが、婦人相談員の業務量が増加するのではないか。	業務量の増加やSNSの導入の費用面については、これから調査・研究していくこととします。

	項目	策定会議での意見等	意見に対する対応等
7	3-(2)-①	外出しなくても会議に参加できるWEB会議が最近利用されているが、DVセンターでも相談業務に取り入れられるのではないか。	費用面、相談体制等の課題もあるため、これから調査・研究していくこととします。 WEB会議など今後の活用が考えられるツールも多くあるため、本文では、SNS「等」とします。
8	3-(2)-⑤	被害者保護の観点から、市においても、夜間や休日の相談体制を整えてはどうか。	婦人相談員の勤務体制などの課題があり、休日、夜間の相談体制は難しいところがある。いつでも安心して相談できるよう相談体制の充実に向け、他都市の事例などを調査・研究していくこととします。
9	5-(5)-② 2-(2)-①	面前DVを受けた子どものうち、要対協などでフォローされている子どもはよいが、フォローされていない子どももいると考える。	行政の支援を断る方もあるので、民間支援団体との連携について、調査・研究していくこととします。